

幸之助さんにとってほとんど座右の銘に近いのかと思います。

江口先生はまた、幸之助さんを間近で見た経験から、その成功を支えた資質として「先見力・集中力・統率力・実行力・判断力・人望力・度胸」を挙げています。中でも特徴的だったのは「人望力」と「度胸」です。ドラッカーの言葉で言えば、人望力はリーダーシップそのもの。人は自然とついて行きたいと思う人に従います。これは肩書きではなく、人柄や信頼感から生まれるものです。

さらにもう一点強調したいのは「経営を公の仕事と考えた」という点です。幸之助さんは、会社を自分のためだけに経営していたのではありません。事業とは社会に貢献する公の営みであり、社員や取引先、そしてお客様に喜んでもらうための活動だと位置づけていました。その考え方があるからこそ、長期的な信頼を得て、困難な時代にも人が離れなかったのです。ここは現代の私たちにとっても大切な視点ではないでしょうか。私利私欲に走る経営は、一時的に成果を上げて長続きしません。社会に役立つ、公の仕事としての経営を行うことが、結果的に会社の発展につながるのだと思います。

最後に、もう一度「素直」という言葉に立ち返りたいと思います。幸之助さんは経営を「自然の理法に従うこと」と表現しました。雨が降れば傘を差すように、自然の流れに逆らわず、天の理に従って経営をする。お天道様に恥じない行いをしていれば、経営は自然と成功に向かう。つまり、経営の根本には人間の素直さがあるのだ、ということです。

私自身、ドラッカーのマネジメント論を学ぶ中で、幸之助さんの考え方と通じるものを強く感じます。ドラッカーもまた「人の強みを活かせ」と言いました。弱みを無理に補うのではなく、組織の中で互いの強みを引き出し合い、それを経営に活かす。幸之助さんの「衆知経営」はまさにその実践例だったのではないのでしょうか。

皆様の中には日々会社を経営し、組織を導いておられる方が多いと思います。経営者である以上「自分が引っ張らねば」と思うのは当然です。しかし時には、部下に尋ね、耳を傾け、彼らの強みを活かすという姿勢もまた大切なのではないのでしょうか。そのときに必要なのが「素直な心」であることは、幸之助さんが生涯を通じて示された通りです。ぜひ皆様も「素直」という言葉を心に留め、幸之助さんの教を日々の経営に活かしていただければと思います。本日はご清聴ありがとうございました。

ニコニコボックス

- 浦野一郎 今給黎様本日の卓話楽しみにしております。今給黎様本日は卓話楽しみにしています。よろしく願いいたします。
- 奥墨常治 今給黎様卓話よろしくお願い致します。楽しみにしています。
- 長島裕之 大野会員残念です。
- 本間雄一 大野会員の訃報にとても驚きました。大野会員のご冥福を心よりお祈りします。本日は今給黎様、卓話をよろしくお願い致します。
- 山川和邦 今給黎様、本日は卓話どうぞよろしくお願い致します。楽しみにしております。
- 金子洋太郎 マネジメント協会合同会社 CEO 今給黎健一様卓話よろしくお願い致します。故大野末壽会員のご冥福をお祈りいたします。
- 城戸重子 大野さん、お疲れ様でした。ゴルフ、旅行等良くご一緒しましたね。寂しくなりました。残念です。
- 赤塚光朗 大野さんのご逝去本当に残念です。寂しくなります。
- 宮川宏昭 大野さんお疲れ様でした。
- 緑川 宏 本日の卓話、今給黎健一様よろしくお願い致します。
- 石川 通 為になる話楽しみにしています。
- 金子耕治 昨日、世界陸上を見に行きました。世界のトップランナーの走りを見ることができました。
- 徳永光昭 今日引越しのため、社内はてんやわんやの状態です。新住所後日お知らせします。

お客様ようこそいらっしゃいました。  
今給黎健一様卓話よろしくお願い致します。

- 八木橋 実 市ヶ谷輝男 岡本忠美 長谷川春一
- 斉藤弘子 磯島栄一 西袋彰一郎 星 宏和
- 池永和義 内田 茂 長谷川陽子

前回迄累計	267件	394,000円
本日の合計	24件	28,000円
合計	291件	422,000円

出席報告

月日	会員総数	計算に用いた会員数	出席者数	MU	出席免除者の出席数	欠席者数	出席率
9/1	55	41	36	4	3	12	78.18%
9/8	55	41	39	0	4	12	78.18%
9/22	54	40	39	5	3	15	72.22%

国際ロータリー 第2770地区 第12グループ

戸田ロータリークラブ

THE TODA ROTARY CLUB

よいことのために  
手を取りあおう



第12グループ例会場一覧

- 蕨 RC 蕨市民会館 301 火 12:30
- 川口西 RC 大和証券川口支店 4階 火 12:30
- 戸田西 RC 戸田市文化会館 木 12:30
- 川口北 RC ヘルヴィ武蔵野 木 12:30
- 川口中央 RC 川口キャスティー7階アルファルーム 月 19:00
- 川口むさし野 RC 川口市立グリーンセンター内 水 12:30

- 国際ロータリー会長 フランチェスコ・アレツォ
- 第2770地区ガバナー 熊木雄太郎
- 第12グループガバナー補佐 高松良典

会報 2025-2026年度 令和7年9月29日発行

本日のプログラム

第2858回例会  
9月29日(月) 点鐘12:30  
卓話「地球温暖化とフロン問題について」  
三菱重工冷熱株式会社  
エンジニアリング事業本部 本部長代理  
プラン統括技術部長 田代英史様

次回のプログラム

第2859回例会  
10月9日(木) 点鐘18:00  
夜間移動例会(会場:トラットリア・アズーリ)  
卓話 JSA認定ソムリエ 中村直哉様  
※6日(月)は9日(木)夜間移動例会に振り替え  
※13日(月)は祝日につき休会

戸田ロータリークラブ

創立:1964年5月25日  
例会日:毎週月曜日 点鐘12:30  
例会場:戸田市文化会館  
〒335-0022 戸田市上戸田4-8-1  
TEL:048-445-1311  
事務局:ダイヤメゾン戸田公園1階  
〒335-0011 戸田市下戸田1-7-16  
TEL:048-445-2437 / FAX:048-432-6331  
会報制作:有限会社 雅堂  
TEL:048-989-8228 / FAX:048-989-8229  
info@miyabido.co.jp

会長:浦野一郎 副会長:長島裕之  
幹事:奥墨常治 副幹事:本間雄一  
公共イメージ委員会  
委員長:磯島栄一 副委員長:高宮大輔  
委員:長島裕之 遠藤英樹 古屋智通 細田善則  
日坂敦夫 福永高士 熊木雄太郎 八木橋 実  
鈴木和江 八木橋 賢一

戸田ロータリークラブ Web Site  
ホームページ <http://www.toda-rc.com/>  
Eメール [info@toda-rc.com](mailto:info@toda-rc.com)

## 第 2857 回例会報告

例会日：2025年9月22日(月)

会場：戸田市文化会館 4階 千歳の間

開会点鐘	浦野一郎会長
ローショング	それぞそロータリー
行事	お客様紹介、ご挨拶
会長挨拶	浦野一郎会長
幹事報告	奥墨常治幹事
委員会報告	各委員会
卓話	「松下幸之助の成功の要因」 マネジメント協会合同会社 CEO 今給黎健一様
閉会点鐘	浦野一郎会長

お客様  
マネジメント協会合同会社  
CEO 今給黎健一様

### 会長挨拶

会長 浦野一郎

皆様こんにちは。8日(月)のオープン例会では原田先生をお招きしタイ北部チェンライのアカ族支援について卓話をいただきました。1時間にわたる卓話でしたが、皆さんお聞きいただき本当にありがとうございます。原田先生は現地で奉仕や日本語教育に携わっておられますが、講演を本業とされているわけではなく、熱が入り例会の時間を過ぎてしまったことを申し訳ないと仰っておられました。私からもお詫び申し上げます。

今後、10月後半に当クラブから4名が現地入りし、11月1日(土)、2日(日)の2日間に奉仕活動を行う予定です。その様子は帰国後に報告いたします。

また先程黙祷をいただきましたが、戸田RC会員の大野末壽さんが亡くなされました。本日も通夜、明日告別式が執り行われます。皆様のご参列をお願いします、最後までお見送りできればと思います。会長挨拶は以上です。



### 幹事報告

幹事 奥墨常治

- 埼京線開業開通 40 周年記念イベントについて  
日時：10月4日(土)  
11:00～16:00  
交代制でピンクリボン啓発活動を行います。
- 大野会員の葬儀について  
お通夜：22日(月)18:00～  
オネスト戸田公園  
告別式：23日(火)11:00～
- 地区よりセミナーのお知らせ  
●地区社会奉仕委員会・サイバーセキュリティセミナーのお知らせ  
日時：10月21日(火)19:00～  
会場：浦和コミュニティセンター第10集会室  
●地区職業奉仕委員会セミナーのお知らせ  
日程：11月1日(土)  
会場：ベルヴィ武蔵野  
テーマ「今こそ仕事の話しよう」  
※出席される方は事務局までご連絡ください。
- 次年度地区役員推薦のお願いが届いております。地区役員に出向予定の方は事務局までご連絡をお願いいたします。
- 次回例会のお知らせ  
29(月)卓話  
※10月の理事会を開催いたしますので理事役員の皆様はご出席いただけますようお願いいたします。



### 委員会報告

◆会員組織委員会

古屋智通委員長

今年度の目標は10名で、現在5名が入会しました。後半戦に向けてさらに増強を進めてまいります。来週29日(月)の例会後に委員会を開きますので、委員の方はご出席をお願いいたします。



### 卓話

「松下幸之助の成功の要因」

マネジメント協会合同会社  
CEO 今給黎健一様



本日はこのような素晴らしい機会をいただき、誠にありがとうございます。普段はドラッカーのマネジメント論を中心にお話をさせていただいておりますが、本日は「松下幸之助の成功の要因」というテーマでお話しさせていただきます。

ご存じの通り、松下幸之助さんは「経営の神様」と呼ばれ、一代で松下電器(現・パナソニック)を世界的企業へと成長させた方です。ただし、私自身が直接お会いしたわけではございません。本日もご紹介するのは、23年間にわたり幸之助さんの秘書として、また側近として仕えられた江口克彦先生から伺ったお話が中心です。江口先生は大学卒業後、松下電器に入社され、その後PHP研究所に移られて以後23年間、最も近くで幸之助さんを支えてこられました。経営者としての幸之助さんを誰よりも間近で見続けてきた方なのです。

まず幸之助さんの略歴を簡単に振り返ります。幸之助さんは明治27年和歌山県に生まれました。ご存じの方も多いと思いますが小学校4年生の時、米相場で家が破産し、わずか9歳で火鉢屋、自転車屋へと丁稚奉公に出されたそうです。自転車屋にいた時、当時の自転車は自動車が買えるほど高価なものでしたが大阪では市電が走り始め、「これからは電気の世界だ」と直感し自転車屋から大阪電灯(現・関西電力)へ移ったといわれています。大阪電灯では検査員として働きながらソケットを考案し、それをきっかけに大正7年、23歳で松下電気器具製作所を創業し、一代で8兆円企業へと築き上げ、経営の神様そのものと私共

は感じているところであります。

では、幸之助さんの成功の要因はどこにあったのでしょうか。江口先生によると、幸之助さんご本人が挙げられたのは次の9つです。

- 凡人であったこと
- 人材に恵まれたこと
- 方針を明確に示したこと
- 理想を掲げたこと
- 時代に即した事業であったこと
- 派閥をつくらなかったこと
- ガラス張りの経営をしたこと
- 全員経営を行ったこと
- 公の仕事と考えたこと

本日はこの中から、いくつかを取り上げてお話しいたします。

まず「自分は凡人であったこと」です。新聞記者に「松下さんは成功者といわれていますね」と問われた時、幸之助さんは「自分は成功したとは思っていない」と答えたそうです。身体が弱かったからこそ人に頼むことを覚え、学歴がなかったからこそ常に人に教えることができ、財産がなかったからこそ丁稚奉公で商人としての躰を受け、世の辛酸を知ることができた。資金もないため一步一步着実に計画を立て、社内に小さな「資金のダム」「信用のダム」「設備のダム」を築き、銀行の信用範囲内で確実に融資を受け事業を続けた。だからこそ、不況でも好況でも一貫して自分のペースで経営できたのだと述べています。

さらに幸之助さんは「分からないことはすべて人に尋ねた」と言っています。普通、経営者ともなれば「自分が引っ張らねば」と思いがちで、人に聞くのをためらうことも多いでしょう。しかし幸之助さんは違いました。知らないことは率直に尋ね、社員や部下の知恵を借りて経営を進めていったのです。これが「衆知経営」と呼ばれるものです。社員一人ひとりを先生として尊重し、その知恵を結集させることで大きな成果を上げました。

ここで注目すべきは、尋ねることで部下が育つ、という考え方です。人に尋ねられると「調べてみよう」と思い、さらに深く学び、それを伝える過程で自分自身も成長する。つまり、経営者が素直に尋ねる姿勢は、単に情報を得るためだけでなく、部下の育成そのものにつながっていたのです。これは非常に示唆に富んだ考え方ではないでしょうか。ただ、心がけなければいけないのは「素直な心で聞く」ということだと言っていたそうです。「素直」という言葉は、